

様式第 2 号の 2

り災申告書（不動産）記載のしかた

（1 の欄）

1 関係区分は、あてはまるものを○で囲んでください。

（2 の欄）

1 建築・購入の欄は、記録（帳簿や契約書など）によって明らかなものなのか、推定によるもののかなど、あてはまるものを○で囲んでください。

2 金額の欄は、建築物を取得した当時の土地の価格を除いた建物の坪単価と、総金額を円単位で記入してください。

（3 の欄）

取得後の経過の欄は、建物を取得してから、規模の大きな修繕・改築・増築があった場合に、いつ、どこの部分を、どれぐらい(坪・㎡)、修繕・改築・増築を○で囲み、いくら(金額)かかったかを記入してください。

記入例

3	取得後の経過（修繕・改築・増築）				
	修繕・ <input checked="" type="checkbox"/> 改築 ・増築	年月 面積	平成 2 年 8 月 2 0 坪・ <input checked="" type="checkbox"/> ㎡	箇所 金額	2 階住宅 1, 5 2 0, 0 0 0 円

（4 の欄）

り災前の建築詳細の欄は、建物の用途、屋根、外壁の構造材、階数、延べ面積を記入してください。また、居住世帯数、居住人員の欄は、建物すべてに居住する世帯と人員を記入してください。

記入例

4	り災前の建築詳細			
	建物用途	住宅	階数	地上 2 階
	屋根	トタン		地下 0 階
	外壁		居住世帯数	1 世帯
	延べ面積		居住人員	2 人

（5 の欄）

1 建物・収容物以外のり災状況の欄は、建物・収容物以外の庭木類、塀などがり災した場合に記入してください。

2 り災の別の欄は、あてはまるものを○で囲んでください。

（1）焼：火災によって焼けた物品及び熱によって炭化、溶融、又は煙により汚れた

ものなど

- (2) 消：消火のために受けた水損、破損、汚損など
- (3) 爆：爆発により壊れたものなど

(6の欄)

- 1 火災保険の加入が数社ある場合は、すべて記入してください。
- 2 保険金額は、契約会社別に万単位で記入してください。

備 考

- 1 この申告書は、消防法第34条に基づいて提出を求めるものです。
- 2 この申告書は、り災した建物1棟について1枚を提出してください。
- 3 この申告書は、り災証明書を発行するために必要ですので出来るだけ早く提出してください。
- 4 あなたに連絡する場合の連絡先の電話がありましたら、その電話番号を記入してください。
- 5 この申告書で分からないことがありましたら、下記までご連絡ください。

消防署 予防班

電 話 73-3151